

来年度予算

# 子育て支援に重点配分を

9月議会における西澤議員の一般質問（9月16日）の一部を紹介するとともに、西澤議員の見解・活動の一部をお伝えし、目前に迫った町政をめぐる政治戦の意義をこいつしよに考えたいと思います。

## 医療費無料化制度の拡充を

西澤議員は9月議会で、医療費無料化制度の拡充を求め、次のようにいたしました。

医療費無料化制度の拡充は、県下でも、また全国でもずいぶん広がった。安心して生み育てられる経済的環境づくりの重要な柱ではないかと考える。人が困ったとき自治体がいかに寄り添う。しかも、子育てまっさかり（の世代）を応援するという重点の柱を立てることが重要ではないか。

住民課長は、「議員指摘の通りだと思つ」としながら、財政が厳しい事を理由に、昨年6月議会で提案・可決した乳幼児マル福制度の条例改正一部負担の範囲を超えない方針を示しました。去年、県が対象年齢を一歳拡大した反面、一部負担導入を追認したものになりました。

西澤議員は、2歳まで完全無料だったものが500円、入院千円の負担に改悪されたが、国の怠慢に地方が抵抗し、実際の子育て世代の支援を財政の余裕があれば実施すると言つてではなく、医療費無料化の拡充を重点とする予算とすべきと、財政担当に迫りました。

総務課長は「担当課と充分協議したい。」と答弁し、西澤議員は、財政の責任者として重点配分の立場で臨む必要を指摘しました。

西澤議員は、5日、町長選挙の説明会にあたって、「現時点では検討半ば」としながら、日本共産党の態度をマスコミに発表しました。一部表現を補充しています。全文は「のぶあきホームページ」をご覧ください。

## 町長選挙を目前に ひかえて（補充版）

【要約文】

一、山本町長の「6選出馬せず」は「せせらぎ遊園のまちづくり」構想の破綻・終焉であると考えられる。その一つの根拠として、退陣表明でも後継者を推すことができます。「せせらぎ遊園のまちづくり」を推進し、山本氏を擁立してきた「本流」陣営から、未だに正式に名乗りが無いことから明らかである。

ゆがんだ同和特別対策に固執しながら、盗水、町有地の不法占有放置・容認をはじめ、制度・財政・人事あらゆる面で、解決の見通しがつかなくなってきた証ではないかと考えられる。

## ゆがみの根源 キッパリ克服を

二、甲良町政の中心的課題は、同和特別対策事業最優先のゆがみをキッパリと克服し、公平・公正で、人間を大切にす諸事業（子育て支援、介護・福祉・教育・くらし支援、農業振興、中小商工業支援など）を中心に据える事が重要だと考える。

三、市・町合併については「住民が主人公」を実行し、住民投票で決定することが一番賢明な方針だと考える。

四、候補者選びにおいては、町民の期待に応え、誠実で清潔、公正・公平を旨とする方がふさわしいと考え、前記の基本的政策を誠実に実行される候補を検討し、「共同」「推薦」「支持」などいづれかの形態が成立するよう誠実に努力を続ける。

## 町有地不法占有放置など 住民監査請求 準備に入る

西澤議員らは、町有地不法占有放置に対する住民監査請求の準備に入りました。

請求の概要は、不法占有を放置・容認してきた責任として分譲代金相当額と固定資産税額相当額を支払わせること。試算によれば、7ヶ所所で約3,629万円となります。無償の町財産委託は法律違反であり、賃借料相当額を支払わせること。

ただし、11月9日をもって任期終了となる山本町長に義務が生じるかどうか、法律上の判断が残ります。が、長期にわたる町民財産の侵害を放置・容認した責任はまぬがれません。

再三議会で取り上げ、幾つかは解決しましたが、町民共有財産への侵害は続いています。

準備が整えば、提出します。

請求人を募集しています

日本共産党は次の見解を発表しました。

## 甲良民報

2005年10月9日 No298  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949  
Eメール info@jcp-nobuaki.com  
のぶあきホームページ  
http://www.jcp-nobuaki.com/